



広報

No. 309

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成9年9月末現在)

世帯数	10,125世帯
人口	30,826人
男	15,673人
女	15,153人
9月の人口移動	
出生	52件
死亡	14件
転入	111件
転出	85件
婚姻	11件
離婚	4件

編集・発行/ 西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/ 沖縄コロニー印刷



△このたび改修されたノロ殿内

△敬老会と十五夜祭を兼ねてノロ殿内の改修を祝い、記念撮影(棚原)

今月の主な内容

- 働く女と男のいきいき
フォーラム (2頁)
- 下水道の顔・マンホールの
デザインで表彰 (3頁)
- まちの話題 (6～7頁)
- 町史だよりNo.27～ (9頁)
～西原の方言～ 一翁長編～
- お知らせで一びる (10～12頁)

赤瓦も鮮やかに ノロ殿内を改修(棚原)

—— 敬老会と十五夜祭りも同時開催 ——

棚原自治会(伊波時男会長)では、このたび同地域の神様であるミルク(弥勒)^{がなし}加奈志がまつられているノロ殿内を改修し、9月20日午後、敬老会と十五夜祭を兼ねて合同で祝賀会を開催しました。

祝賀会にはたくさんの地域住民が参加する中、多数の余興が披露され、お年寄りの長寿とノロ殿内の改修を祝いました。(関連8頁)

女性の視点を職場に活かそう 働く女(ひと)と男(ひと)のいきいきフォーラム

「女性の能力発揮を目指して」をテーマに、「働く女(ひと)と男(ひと)のいきいきフォーラム」(主催・町女性行動計画地域推進委員会職場部会)が、十月六日午後、町中央公民館ホールで開催され、四人のパネリストから第一線で働く女性の現状や今後の課題、夫との付き合い方を含めた家事・育児・介護の方法などが報告されました。

会場には、開催時間が平日の昼間の時間にも関わらず男性を含む約七十人が詰め掛け、

また、質疑では活発な発言があるなど町民の関心の高さを物語っていました。



△「女性の能力発揮を目指して」をテーマに開かれた「働く女(ひと)と男(ひと)のいきいきフォーラム」(平成9年10月6日、町中央公民館)

町女性行動計画地域推進委員長

佐久川伊弘さん(老人保健施設池田苑)の四人がパネリストとして報告、佐藤トモコ県

女性少年室長が助言者として県内の女性労働者の現状などを報告しました。

与久田さんは「職場は大半が女性で、人生の先輩たちからとりあえずやってみる積極性と人の話を聞く謙虚さを学んだ」、瑞慶村さんは「スペシャリストを目指し、資格や留学などに挑戦する女性も多く、会社もそれを奨励し男女問わず、人材の育成に努めている」、平良さんは「やる気のある女性が増え、技能も向上しているが、子育てと仕事の狭間でパートに変わる人もいる。女性はまじめである

町女性行動計画地域推進委員長 佐久川伊弘さん(老人保健施設池田苑)の四人がパネリストとして報告、佐藤トモコ県女性少年室長が助言者として県内の女性労働者の現状などを報告しました。

与久田さんは「職場は大半が女性で、人生の先輩たちからとりあえずやってみる積極性と人の話を聞く謙虚さを学んだ」、瑞慶村さんは「スペシャリストを目指し、資格や留学などに挑戦する女性も多く、会社もそれを奨励し男女問わず、人材の育成に努めている」、平良さんは「やる気のある女性が増え、技能も向上しているが、子育てと仕事の狭間でパートに変わる人もいる。女性はまじめである

△コーディネーター・儀間 信子さん



△パネリスト・与久田 喜美子さん



△パネリスト・佐久川 伊弘さん



△助言者・佐藤 トモコさん



△パネリスト・瑞慶村 洋子さん



△パネリスト・平良 映子さん



反面、感情に流されやすい。仕事でも機会があれば積極的に取り組む姿勢もほしい」、パネリストでただ一人の男性の佐久川さんは「老人保健施設に」男性が足しげく見舞いにくると感心だといわれ、なぜ嫁や娘はこないのかと職員間でも話題になる。少子高齢化社会に向け介護・育児などの面から男女平等の意識を育てるべき。また、定年後の男性の社会参加も問題」と述べました。

で男女差別がなくなる革命的な改正となる」と働く女性を取り巻く状況の変化を強調、働く女性を励ましていました。



△テーブルコーディネーターを持ち込んで参加する町民もいて、同フォーラムへの町民の関心の高さを物語っていた。

所得税の予定納税の第二期分の納税期間は、11月1日(土)から12月1日(月)まで。

(お問い合せは、北那覇税務署 ☎098-877-1324(代))



西原町の 下水道の顔です。 よろしくね!

—— 下水道マンホール蓋デザイン表彰 ——

△最優秀賞に輝き、西原町の下水道の顔となったマンホール蓋のデザイン
(作・比嘉雄二)

下水道マンホール蓋デザイン入賞者たち(左から、比嘉裕一さん、比嘉雄二さん、翁長正貞町長、与座隆志さん)



最優秀賞を受賞した比嘉さんの作品は、西原町のシンボルである運玉森をシルエツトに町花ブーゲンビリアと内

西原町の下水道の顔となるマンホール蓋のデザインがきまり、九月九日午後、町長室で入賞者の表彰式が行われ、賞状とそれぞれの作品をあしらった記念品が贈られました。本町では、今年から下水管渠の整備工事を開始することからマンホール蓋のデザインを募集していました。五十六点の応募作品の中から最優秀賞にデザイナーの比嘉雄二さん、優秀賞に与座隆志さんと比嘉裕一さんの作品が選ばれました。

間御殿のサワフジをデザインしたもの。

翁長正貞町長は「応募作品は、どれも甲乙つけがたい出

来映えて選考に困った。その中でも、西原の歴史、文化、自然などをシンボライズした、三点の入賞作品は、選考会で

評価が高かった。町民の下水道に対する意識高揚を図りながら、下水道事業を推進していきたい」と述べました。最優秀賞を受賞した比嘉さんは「最優秀賞に選ばれてとてもうれしい。下水道事業の推進に少しでもお役に立てれば」と控えめながら、受賞を喜んでいました。

いきいき健康フエスタ'97を開催

町と町教育委員会が主催する「いきいき健康フエスタ'97」が、十月十日体育の日に、町民体育館と町陸上競技場で開催され、多数の町民が自分の健康チェックや軽スポーツなどに汗を流しました。

町民体育館では、体脂肪や

骨密度、生活体力を測る生活習慣病予防コーナー、手作り絵本の紹介や実際に小物を作る母子コーナー、無料鍼灸マッサージコーナー、食品について考えるコーナー、無公害石鹸等の紹介コーナーなどのほか、学校給食の歴史や薬草な

どのパネル展示、シャッフルボールなどの軽スポーツ大会が行われました。陸上競技場では、スポーツ少年団の体力測定やお年寄りを対象にゲートボール大会が行われました。



△軽スポーツも大人気(シャッフルボール)



△「生活習慣病予防コーナー」は、老若男女で大にぎわい



△陸上競技場では、ゲートボール大会が行われた

募集 平成9年度海上保安庁 船艇(航空機)職員・無線従事者採用試験

☆願書受付期間:平成9年10月20日(月)～11月7日(金) ☆受験資格:昭和33年4月2日以降生まれ、他条件あり。☆試験日程:第1次・平成9年11月16日(日)、第2次・平成9年11月17日(月) 詳しくは第11管区海上保安本部人事課 ☎866-0083、または海上保安庁人事課 ☎03-3591-6361まで



△字上原にオープンした「ひまわりハウス」

精神障害者共同作業所

“ひまわりハウス”が字上原にオープン

県内で初めて、主婦らが中心に開設

運営費に支援
呼びかけ

精神障害者のための共同作

業所「ひまわりハウス」(田

仲光子所長、字上原九十七番

地)がこのほど完成し、九月

二十日に開所式が行われまし

た。開所式には、地域の人た

ちや関係者約百人が詰め掛け、

作業所の開所を祝いました。

家族会や公的機関ではなく、

一般の主婦やボランティアら

住民グループが作業所を設立

するのは県内で初めて。ハウ

ス内には革細工教室やその販

売所、喫茶室が設けられ、一

般の人々も利用できます。

なお、共同作業所ひまわり

ハウスとミラソル会について

のお問い合わせは

☎〇九八—九四四—二八四九

まで。



憲法・地方自治法・児童福祉法施行50周年記念

『西原町子ども議会』

趣 旨：◎地方政治の重要な議決機関である議会の活動や議員の役割について学ぶ。

◎西原町議会を実際に体験することによって、西原町にかかわる様々な問題について考え、自分たちの身の回りの生活が、政治とどのようにかかわっているのかを考えさせる契機にする。

◎子どもたちの貴重な意見を西原町の将来に向けた新たな町政運営と文教のまちづくりに生かす。

共 催：西原町・西原町議会・西原町教育委員会

後 援：西原町PTA連合会

西原まちづくり町民の会

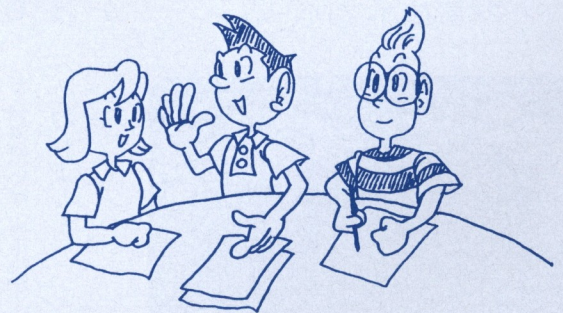
対 象：西原中学校・西原東中学校(3年生)

開催日時：平成9年11月11日(火) 午前10時

開催場所：西原町議会議場

問い合わせ先：西原町議会事務局 ☎945-5005

または西原町教育委員会 ☎945-3655 まで

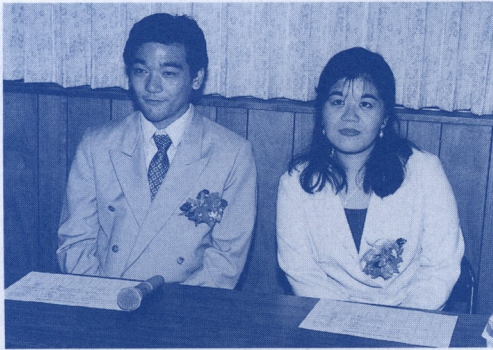


南米から二人の研修生

平成9年度町海外移住者子弟研修生歓迎・激励会

海外に移住した町出身の子第二人が、今年も研修のため来県し、九月十九日午後、町役場二階会議室で激励会が開かれ、翁長正貞町長をはじめ、研修生の身元引受人や研修生受け入れ機関の関係者、議員ら多数が出席しました。

研修生は中山ビビアナさん（アルゼンチン）と小橋川フアンさん（ペルー）の二人。中山さんは十月半ばまでは那覇市の広告会社エスピープロダクトで宣伝、広告を研修、その後は町役場などでパソコン



△平成9年度研修生として来沖した中山ビビアナさん（アルゼンチン、右）と小橋川フアンさん（ペルー、左）。

の操作などを学びます。小橋川さんは町内のプリマで貿易、マーケティングを学びます。

二人ともすでに研修を開始しており、十二月まで、それぞれ専門分野のほかに日本語や沖縄文化を研修します。日本語は沖縄キリスト教短期大学の学生から、また、三線や太鼓などの沖縄文化については師匠にいたりサークルで学んでいます。

あいさつの中で翁長町長は「専門分野を身につけるとともに、自分のルーツである西原・沖縄の文化や生活に触れてほしい」と研修生を激励しました。中山さんは「両親から古里・沖縄は素晴らしい所と聞いて楽しみにしていました。機会を与えてくれた西原

町の皆さんに感謝します」、小橋川さんは「ここでの成果を生かし、将来は貿易会社に勤めて、貿易を通してペルー経済と沖縄や日本との交流に貢献したい」と抱負を述べました。

交通死亡事故ゼロ宣言

県下の交通事故は10月5日現在2,261件発生し70人死亡している。交通安全運動の目標でもある若年者及び高齢者の交通事故防止運動にもかかわらず、西原町内で9月10日には、国道329号線の内間地内で高齢者の死亡事故、及び9月16日に与那城地内で男性のいたましい死亡事故が連続して発生した。

西原町議会は交通死亡事故ゼロを目指し、町民の生命を守るためにも、全力をあげて取り組むことをここに宣言する。

平成9年10月6日

西原町議会

交通死亡事故ゼロを願って

本町では、九月十日に字内間の国道で高齢者が、同十六

日に与那城の町道で男性が死亡する事故が相次いで発生しました。

このような事態を憂慮して、町議会（富春治議長）では、九月定例会で、十月六日に「交通死亡事故ゼロ宣言」を採択しました。

また、九月二十四日には、小那覇交差点と坂田交差点で翁長正貞町長ら町役場管理職らが中心となって、道行く人やドライバーたちに交通安全を呼びかけるチラシの配布も行われました。

カジマヤー
を迎えた
みなさん。

ますます
お元気で。

先月号でご紹介できなかったみなさん



△與那嶺 カマドさん
(棚原832番地の3)



△宮平 ツルさん
(我謝53番地)



△大城 カマさん
(内間39番地)

11月10日(月) 年末調整説明会

(13:30~16:00、町中央公民館。年末調整の仕方、法定調書の作成、地方税等)

▷幼児と二人一組で行なわれた「なかよし聖火リレー」。



みんなで支える長寿のよろこび

— 熟年スポレク大会を開催 —

9月の敬老月間にちなみ「^{あし}すりてい遊ばな ^{かた}語てい遊ばな」をテーマに、平成9年熟年スポレクにしはら大会(町老人クラブ連合会主催)が、9月25日午後、町民体育館で開催されました。

大会には、町内の18自治会から60歳以上のお年寄りとサウンド幼児学園(宮城茂光園長)の幼児ら約200人が参加、6チームに分かれて各種目に熱戦を展開しました。

幼児と2人一組で手をつなぎながら聖火をリレーする「なかよし聖火リレー」や、西原町と沖縄県に関するクイズに○×式で答える「ふるさとクイズ」など、参加したお年寄りらは、頭と身体を使いながら心地よい汗を流していました。

▷「わあ、この絵とてもきれいだ。と未来の芸術家(?)」



町内芸術家の力作が揃う

— 第4回町美術工芸・写真・書道展 —

町文化協会(屋良朝光会長)では、10月9日から12日までの4日間、町中央公民館ホールで第4回町美術工芸・写真・書道展を開催しました。

同展示会は、会員の資質の向上と活動の輪の拡大を目指して、日頃の活動成果を見てもらおうと開かれたもの。

人物や沖縄の風景、祭りなどの写真、いすや人形などの藤製品、具象・抽象の絵画、墨絵や味わいのある書など約150点が出品され、訪れた人々の目と心を潤しました。

初日には、屋良会長や翁長正貞町長らがテープカットし、芸術の秋にふさわしい町内芸術家の力作が揃う同展示会の開催を祝いました。

まちの話題



◁「守礼の里」を慰問した西原つりクラブのみなさん。

西原つりクラブが「守礼の里」を慰問

西原つりクラブ(西表孫称会長)は、8月24日、特別養護老人ホーム守礼の里(久田研二理事長)を訪問し、同クラブが釣った魚をホームのお年寄りにプレゼントしました。

同つりクラブは、3年前の町中央公民館講座「つり講習会」をきっかけに発足、毎月第3水曜日に会合を持ち、次の日曜に釣りをしています。「自然があるから釣りもできる」と、「自然との共生」をモットーにしている同つりクラブ。規約にも「地域への貢献」を掲げ、今回の訪問は、老人福祉週間の一環として同つりクラブで出来ることをしようと思ったもの。

守礼の里でも同つりクラブは歓迎を受け、若い頃は、自分も釣りを趣味にしていたというお年寄りは、パヤオ漁でとれた魚を実際に手に触れて大喜びしていました。

西表会長は、今後もクラブ活動を通し、「会員たちの理解と協力を得て、釣り人たちのマナー向上や地域への貢献をしていきたいと話していました。



◁産業廃棄物の処理能力が10倍になった焼却施設。

産業廃棄物の処理能力が10倍に

— 県産業廃棄物処理共同組合共同施設が完成 —

処理困難な液体廃棄物や汚泥など特殊な廃棄物を処理する産業廃棄物処理共同組合(宮城建昭代表理事)の「ロータリーキルン方式焼却施設」が、このほど完成し、その落成式が9月19日、宇小那覇の同組合施設敷地内で行われ、多くの関係者が出席しました。

宮城代表理事は、「この施設が、産業廃棄物の再資源化や環境保全についても役立てれば幸いです」と抱負を述べました。

同組合ではこれまで外食産業からの廃油や医療廃棄物などの焼却処分を中心に事業展開してきたが、既存施設は1日3トンの処理能力しかなく繁忙期の対応が困難でした。このため新施設の建設を計画し、中小企業高度化資金を活用して、昨年、事業に着手しました。新施設は、脱水機で水分を除去し、処理困難な液体廃棄物や汚泥など特殊な廃棄物を燃焼して処理、最新鋭の機器導入により感染性廃棄物は完全殺菌されるなど公害防止対策も万全。処理能力は1日28トンと、これまでの約10倍になりました。

11月11日(火) 税金展

(町役場ロビー→租税資料の展示・小学生の税の書道展示。町役場2階会議室→税金相談等、～17日。11/12日(水)には税理士による無料税金相談(9:00～16:00、町役場2階会議室)あり。)



△消防操法大会で総合1位となった東部消防本部

訓練の成果を競う

— 第23回 南部消防操法競技大会 —

消防技術の向上と団員の士気高揚を図ろうと、第23回南部消防操法競技大会(南部消防協議会主催)が、10月2日、翔南製糖西原工場で開催されました。大会には那覇、糸満、豊見城、島尻、久米島、東部の各消防本部から役員、選手あわせて150人が参加、自動車ポンプ操法、小型ポンプ操法など4種目に、ホースの延長操作や放水などで、迅速性と確実性、チームワークを競いあいました。競技の結果、東部消防本部が総合1位となりました。

各種目の上位チームは、10月30日に中城村にある県消防学校で行われる県大会に出場します。

外間栄光さんが町長賞を受賞

— 西原町畜産共進会 —

平成9年度西原町畜産共進会(サンライズ農業協同組合主催)が、9月26日午前、翔南製糖西原工場内敷地で開催され、町内の畜産農家が手塩にかけた牛40頭が出場しました。

審査の結果、5頭が優等選ばれ、中でも優れていた外間栄光さん(幸地247番地)に町長賞、園田三郎さん(小波津233番地の83)に町議会議長賞、新田宗保さん(与那城311番地)に農業委員会会長賞、喜屋武栄一さん(池田78番地)に島尻中頭郡共済会長賞がそれぞれ贈られました。



△畜産共進会での審査風景



△ビーチバレー競技で準優勝した「我謝ブラザーズ」(表彰式から)

我謝ブラザーズ、国体で準優勝

— 「なみはや国体」夏季大会・ビーチバレー競技 —

大阪府で開かれた第52回国民体育大会「なみはや国体」の夏季大会第3日(9月15日)に行われた公開競技のビーチバレー成年男子に出場した我謝ブラザーズが、見事、準優勝しました。

我謝ブラザーズは、出場選手中最も小柄なチームながら、相手の弱点をついたり屋外ならではの風を利用した頭脳的なプレーで勝ちあがりました。

決勝では、6人制バレーボールの元全日本代表で身長差が28センチメートルもある熊田の強烈なスパイクをブロックするなど、大健闘しました。

“さわふじ交番”で 浦添警察署から8団体へ感謝状

浦添警察署(東恩納兼吉署長)は、10月1日午後、小那覇交番の“さわふじ交番”づくりに参画した8団体に感謝状を贈呈しました。

同8団体は小那覇交番の外壁をイラストによる模様替えや協賛金など提供をしました。

なお、表彰を受けた団体は次の通り。

△県広告美術協同組合東支部 △町商工会 △西原38通り会 △サワフジ中央通り会 △西原産業通り会 △西原建設協力会 △西原まちづくり町民の会



△「町民に親しまれる“地域の交番”づくり」に協力したことで浦添警察署から8団体が表彰された

11月11日(火) 憲法・地方自治法・児童福祉法施行50周年記念事業 子ども議会

(西原町役場本庁舎2階 町議場。9:30開場、~12:00まで。お問い合わせは、町教育委員会 ☎945-3655)

赤瓦も鮮やかに色直し

ドウンチ

棚原でノロ殿内を改修

敬老会と十五夜祭りも同時開催

棚原自治会（伊波時男会長）では、このたび同地域の神様であるミルク（弥勒）加奈志がまつられているノロ殿内を改修し、九月二十日午後、敬老会と十五夜祭を兼ねて合同で祝賀会を開催しました。

祝賀会にはたくさんの地域住民が参加する中、多数の余興が披露され、お年寄りの長寿とノロ殿内の改修を祝いました。

ミルク（弥勒）加奈志は、すべての祭事を中心となる無病息災、五穀豊饒を祈る棚原自治会の神様で、伊波会長によると初起こし、三月ウビ、

五・六月のウマチー、十五夜祭などのほか、ミルクの誕生日とされている旧暦十二月二十日にはその年に生まれた赤ちゃんの健康祈願も行います。

築三十年というノロ殿内は、屋根の雨漏りなど老朽化が進んだため改修工事を行ったもので、これまでのコンクリート一色だったものが、屋根に赤い平瓦を載せ、正面の柱は赤、てすりは黄色に塗装、階段も高齢者に配慮したものとなりました。また、建物の正面通路には、棚原自治会の区画整理事業のときにとれた琉球石灰岩が加工され、敷き詰められています。

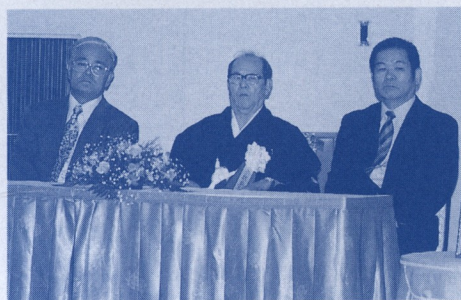


ノロ殿内から、棚原の神様であるミルク（弥勒）加奈志が登場。

ミルク加奈志とともにノロ殿内の改修と敬老会・十五夜祭りを祝う。



棚原区民は、設計した城間勇吉さんの指導を受けながら、自治会から二百万円、町から二十万円の補助を受けて、約一カ月半かけて改修しました。



△「上地流」（空手）の県重要無形文化財技能保持者に認定された糸数盛喜氏（中央）

いとかずせい き

うえ ち

糸数盛喜氏(空手・上地流)が 県重要無形文化財技能保持者に

—「空手・古武道」の県文化財指定に伴う—

本町翁長出身の糸数盛喜氏（八十一歳）が、県重要無形文化財技能保持者に認定され、九月二十五日午後、かねひで都パレスで、記念祝賀会が行われました。

これは、県文化財保護審議会（金城正篤会長）が、県指定無形文化財として新たに「沖縄の空手・古武道」の指定と保持者の三人を認定するよう安室肇県教育長に答申し、認められたことから。

祝賀会では、空手界を代表して仲里周五郎沖縄空手道少林流少林館協会会長が祝辞を述べたほか、翁長正貞町長や呉屋秀信金秀グループ会長、城間期一町教育委員長らが来賓としてあいさつ、糸数氏の保持者認定と「空手・古武道」の県文化財指定を祝いました。

糸数氏は、「上地流」開祖の上地完文（一八七七一—一九四八年）、二代目・上地完英（一九一一—一九九一年）の両氏に師事。同審議会が答申で述べているように「伝統的な技法を正しく体得、精通し、高度に体現でき」、「戦前、戦後にわたり後進を指導し、その保存・継承に努めて」いることから、伝統的な技術・技法の保存・継承を図るため保持者として認定されました。

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽字翁長百五十八番地の一、
(有)明生建設(池原忠英代表
取締役)が、一般寄付として
町人材育成会へ五十万円。

▽字棚原二百八十八番地、比
嘉カナさんが、米寿祝いを記
念して町社会福祉協議会へ五
万円、町老人クラブ連合会へ
五万円。

▽字棚原二百八十番地、伊波
ウトさんが、米寿祝いを記念
して町社会福祉協議会へ五万
円、町老人クラブ連合会へ五
万円、町老人クラブ民踊レク
サークルへ三万円。

▽字与那城二百七十七番地の
二三、宮城康盛さんが、米寿
祝いを記念して町社会福祉協
議会へ五万円、町老人クラブ
連合会へ五万円。

▽字与那城三百二十九番地の
四、新川仁徳さんが、故弟仁
秀さんの香典返しとして町社
会福祉協議会へ三万円。

▽字小橋川百十六番地、呉屋
政之さんが、故父景德さんの
香典返しとして町社会福祉協
議会へ五万円。

町史だより
—No.27—

西原の方言調査から

翁長編

翁長の方言調査では、西
原善栄さん、西原裕昌さん、
城間文子さんからたくさん
の翁長クトゥバを教えてい
ただきました。

そのなかでも今回は、俗
信や習俗に関することばに
ついて、少しばかり述べて
みたいと思います。

前回の町史だよりでもふ
れましたが、少年期を翁長
村で過ごした歴史文化研究
家・比嘉春潮が著した「翁



△翁長の興味深い話しをたくさん教えていただ
いた3名の方々

長旧事談」には、明治期の翁
長の様子が記されています。
その中で、春潮は「いちじゃ
まのこと」として次のように
書いています。

いちじゃまとは、人を呪う
特殊な能力を持つている者。
たいてい女で母から娘へと、
母系によつてこの能力は伝わ

るものようである…(略)：
血統的の「いちじゃま」でな
くても、非常に深く人を恨ん
だりすると「いちじゃま」と
同様に考えられている。あま
り他人の悪口ばかりいう奴は、
あいづは「いちじゃま」する
かもしれないなどといわれる…
(略)。

春潮のいう「いちじゃま」
ということばが翁長に今も残っ
ているのかしら、と思ひなが
ら三名のみなさんにうかがっ
てみました。すると「「いち
じゃま」ということばはある

よー」とのこと。

お話しによると、「いちじゃ
ま」とは、とても他人を恨ん
で呪う人のことを指すようで
す。しかし「いちじゃま」が、
血統的なものであるについて
はちよつと分かりませんでし
た。

なんでも、「いちじゃまする
人はねー、竈の前でよー、頭
からふろしきかぶつて、顔か
くして棒で灰をチチチャーチ
チチャー(つつつて)して呪
う人の名前いうて呪うわけさ。
でもいちじゃまする人は最低
の最低さー。」とのこと。

このようなお話しは、めつ
たにうかがうことはできませ
ん。そういう意味では、むか
しの俗言や習俗を知る意味で
も貴重であるといえます。

ちなみに春潮はほかにも、
「かなぶやあ(元来、幽霊や
化け物が見えるなどといった

特別の能力をもっている者」
の話や、「ムヌマイー(人
が神隠しにあったように、
一種の魂である「もの」に
つかまり、突然行方不明に
なること)」についても述
べています。

…(略)：翁長ではムヌ
マイーをした者があつて、
これは村に近い洞窟で発見
された。また、沼の中から
発見された女もいたといふ…
(略)。

「いちじゃま」は生き魂？
「かなぶい」は：優ってい
ること？「ムヌマイー」は
もの迷い？

春潮の著を読み、今回の
調査でお話をうかがつてみ
て、改めて現代社会ではあ
まり語られない、超自然的
ともいえる俗信や習俗、そ
してそれをあらわすたくさ
んのことばに対する探究心
がわいてくるのでありまし
た。おつとその前に、それ
らのことばを理解するには、
もう少し方言の勉強をしな
くては…トホホ。

児童福祉法制定50周年記念 西原町児童館フェスティバル'97

輝ける21世紀を担う子どもたちへエールをおくり、親子のふれあいを通し、
家族の絆を深めることを目的とする。

日 時 平成9年11月22日(土) 午後1時～4時
場 所 西原町中央公民館
主 催 西原児童館 西原東児童館
共 催 西原児童館母親クラブ『コアラ』
西原東児童館母親クラブ『ひよこ』

舞台の部

鉢嶺元治ショー
子どもたちの手話うた(手話クラブ)
親子ダンス(幼児クラブ)

そ の 他

バザー(手づくり菓子、スライムの販売、おもちゃリサイクルなど。)
作品展示(夏休み工作教室での作品、トールペイント、木工作品)
写真展示(児童館の自然体験活動や行事の紹介、母親クラブ)
お茶会などそのほかたのしい催しがいっぱい

問い合わせ……西原児童館 ☎945-4393 西原東児童館 ☎944-0976

お知らせ
でーびる

案内・募集

11月

【西原町役場】

総務課 ☎945-5011
選挙管理委員会 //
文化広報課 ☎946-9846
福祉課 ☎945-5311
町民課 ☎945-5012
出納室 ☎945-5193
税務課 ☎945-4729
国民健康保健課 ☎945-4791
保健衛生課 ☎945-5013
企画財政課 ☎945-4533
議会事務局 ☎945-5005
土木課 ☎945-4415
都市計画課 ☎945-4496
区画整理課 ☎946-9050
産業課 ☎945-4540
農業委員会 ☎945-5281
水道課 ☎945-4934

【西原町教育委員会】

教育総務課 ☎945-3655
生涯学習課 //
学校教育課 //
教育相談課 ☎945-3656
町民体育館 ☎945-8095
町民陸上競技場 ☎944-1146
町中央公民館 ☎945-3657
☎945-9208
学校給食共同調理場 ☎945-4935
西原児童館 ☎945-4393
西原東児童館 ☎944-0976

広報係から

町役場本庁舎正面玄関に入る
と、季節感あふれる生花が目に
つきまします。町文化協会華道部の
みなさんの心づかいによるもの
です。が、住民に親しまれるもの
役場づくりには役かっているもの
です。心が和む町行政の担い手と
して、こちらも頑張らねばと、
気がひきしまります。

人権相談所開設

1. と き 平成9年11月7日(金)
午前10時から午後4時まで
2. ところ 西原町役場2階第一会議室



人権擁護委員

親子、夫婦、扶養、相続、借地、借家、登記、名誉、信用、差別、私的制裁、公害
いじめなどの人権問題の相談に応じています。

いじめ相談電話 (098) 854-7950

人権擁護委員は

あなたの街の相談相手!!

*相談は無料で秘密は守られます

那覇地方法務局・那覇人権擁護委員協議会

家屋を撤去した場合は届け出を!

問い合わせ等は、西原町役場 税務課 家屋係 ☎ 098-945-4729 (内線143) まで。

ランナー 集まれ!

'98 おきなわマラソンに参加してみませんか?

- **開催趣旨**：おきなわマラソンは、県下唯一の日本陸連公認の競技マラソン部門と一般参加型の市民マラソン部門・高校10キロロードレース部門を併設したマラソン総合イベントで、競技力向上と沖縄県のスポーツ振興に貢献すると共に観光立県を掲げる本県の経済振興に大きく寄与することを目的とする。
 - **主催**：沖縄陸上競技協会、中部広域市町村圏事務組合、沖縄県公園・スポーツ振興協会、琉球新報社
 - **共催**：沖縄県、沖縄県教育委員会、沖縄県高等学校体育連盟
 - **特別協賛**：協賛各社
 - **後援**：九州陸上競技協会、沖縄総合事務局、中部広域市町村教育委員会、沖縄県体育協会、中頭郡体育協会、沖縄市体育協会、具志川市体育協会、宜野湾市体育協会、沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、沖縄テレビ
 - **協力**：中部地区医師会、県立中部病院、沖縄県看護協会、中頭地区体育指導委員協議会、沖縄市観光協会、宜野湾市観光協会、沖縄商工会議所、中部広域市町村商工会、中部地区婦人連合会、沖縄青年会議所、石川青年会議所、宜野湾青年会議所、具志川青年会議所、中部消防長会、沖縄県はり・きゅう・あん摩・マッサージ指圧師協会、沖縄市保険鍼灸あん摩マッサージ指圧師協会、嘉手納空軍基地、沖縄県バス協会、沖縄県タクシー協会、中部沖縄タクシー協会、沖縄県個人タクシー事業協同組合、沖縄中部個人タクシー協会、沖縄県交通安全協会連合会、沖縄地区交通安全協会、沖縄市観光ホテル旅館事業協同組合、中部地区老人クラブ連合会、中部地区自治会長会、中頭地区PTA連合会、沖縄県ランナースクラブ連合会、沖縄県視覚障害者福祉協会、沖縄市国際交流協会
 - **主管**：おきなわマラソン実行委員会
 - **期日**：1998年2月15日(日)・午前9時スタート・午後3時フィニッシュ
 - **会場・コース**：沖縄県総合運動公園陸上競技場(泡瀬)スタート・フィニッシュ
嘉手納基地内を含む日本陸上競技連盟公認(周回)コース
 - **種目**：《フルマラソン(42.195km) 競技マラソン部門、市民マラソン部門》 高校10kmロードレース
 - **日程**：2月14日(土)◆開会式及び講演会、ナンバーカード・Tシャツ引換え
2月15日(日)◆表彰式(男子)(競技マラソン部門・市民マラソン部門 1位～6位)まで表彰
(女子)(競技マラソン部門・市民マラソン部門 1位～6位)まで表彰
特別賞の表彰式(年代別賞・最高齢者賞・外国人賞・チームエントリー賞)
◆閉会式
 - **競技規則**：平成9年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の沖縄陸上競技協会申し合わせ事項によるものとする。
 - **参加資格**：国籍を問わず、18歳以上の本大会に正式エントリーをしたナンバーカード通知書を持つ(代理出場不可)健康な男女。但し、競技部門は日本陸連の選手登録者に限る。
高校10キロ(男女)ロードレースの参加は学校単位で受け付ける。(開催要項別)
 - **参加料**：3,000円(傷害保険料・記念Tシャツ代含む)
 - **定員**：15,000人
 - **申込方法**：①沖縄県外在住者及び外国人 平成9年10月1日～12月15日(必着)の間に所定申込書と参加料を郵便(現金書留)で送付するか、直接申し込む。
②沖縄県内在住者 平成9年12月1日～12月14日の間に直接、下記申込受付場所へ所定申込書と参加料を持参のこと。現金書留の場合12月15日(必着)
なお、申込み後の参加料は返却しない。ナンバーカード通知書(参加登録証)は大会2週間前までに参加者に送付する。
 - **申込受付場所**：おきなわマラソン実行委員会事務局
〒904 沖縄市諸見里2-1-1 沖縄市営コザ運動公園 陸上競技場 2F
☎ 098-930-0088 Fax 930-0101 (高速道路沖縄南インターチェンジ近く)
◎琉球新報社 本社事業局(☎ 865-5253) ◎琉球新報社 浦添支社(☎ 876-1315)
◎琉球新報社 中部支社(☎ 934-6500) ◎琉球新報社 北部支社(☎ 0980-53-3131)
 - **国外マラソン派遣について**：競技マラソン部門(男子)に限り優勝者1名及び沖縄県内1位を国外著名マラソンへ派遣する。
 - **チームエントリーについて**：5名一組のチームエントリーとし、エントリーした完走者全員の平均タイムで順位を競う。
※ルールについては申込み用紙参考。
 - **問い合わせ**：おきなわマラソン実行委員会事務局
〒904 沖縄市諸見里2-1-1 沖縄市営コザ運動公園 陸上競技場 2F
☎ 098-930-0088 Fax 930-0101 (高速道路沖縄南インターチェンジ近く)
- ※高校10キロ(男・女)ロードレースは12月末までに、県下の各高等学校宛に開催要項・申込書を送付する。申し込みは男子、女子とも学校単位になる。

電話の加入権公売について

町税徴収と滞納町税の円滑な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

公売実施日

平成9年11月28日(金) ※受付14:00～14:30

西原町役場2階大会議室

※印鑑(認印)を持参して下さい。

詳しいことは、西原町役場税務課

☎ 945-4729 (内線144)

戦没者等の遺族の皆様へ

—— 特別弔慰金の請求期限は

平成10年3月31日です ——

西原町役場内に『税金相談コーナー』開設!!

お気軽にご相談ください。

日時：平成9年11月12日(水) 午前10時半～午後4時

場所：西原町役場2階会議室



税金相談コーナー

相続税、贈与税、消費税、不動産取得税、町・県民税、固定資産税

国税・県税・町税務課職員・税理士が無料で相談に応じます。

『税を知る週間』は11月11日～17日

期間中、ミニ税金展を役場ロビーにて開設

北那覇税務署、那覇県税事務所、西原町役場税務課

町税の納付は……便利な □ 座 振 替 で!!

11月(NOV.)行事・祭事予定表

- 5日(水) ○ベビースクール1 (3カ月～5ヶ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 7日(金) ○母親学級1(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 10日(月) ○ベビースクール2 (3カ月～5ヶ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
○年末調整説明会(13:30～16:00、町中央公民館、年末調整の仕方、法定調書の作成、地方税等)
- 11日(火) ○憲法・地方自治法・児童福祉法施行50周年記念「西原町子ども議会」(9:30～12:30、町議会議場。問一教育委員会 ☎945-3655)
○税金展(町役場ロビー→租税資料の展示・小学生の税の書道展示、町役場2階会議室→税金相談等、～17日まで。)
- 12日(水) ○税理士の無料税金相談(9:00～16:00、町役場2階会議室)
- 13日(木) ○3歳児健診(H6.7.16～H6.8.7生まれ、13:30～14:15、町社会福祉センター)
○西原町産業通り会設立15周年記念式典・祝賀会(18:30、かねひで都パレス)
- 14日(金) ○母親学級2(初妊婦、13:30、町中央公民館)
- 20日(木) ○1歳半健診(H8.4.17～H8.5.16生まれ、13:30～14:15、町中央公民館)
- 21日(金) ○母親学級3(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 28日(金) ○母親学級4(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)

12月(DEC.)行事・祭事予定表

- 10日(水) ○西原町人づくり支援の会「大城久美子チャリティー絵画展」(10:00、町中央公民館ホール)
- 11日(木) ○3歳児健診(H6.8.8～H6.9.11生まれ、13:30～14:15、町社会福祉センター)
- 18日(木) ○1歳半健診(H8.5.17～H8.6.17生まれ、13:30～14:15、町中央公民館)

「犯罪捜査にご協力を」

～聞かせて下さい地域の皆さんの声～

警察では、11月中を「指名手配被疑者捜査強化及び捜査活動に対する市民協力確保月間」に設定して、広く県民に、犯罪捜査に対するご協力をお願いすることになっています。

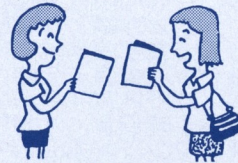
- 指名手配犯人検挙にご協力を
 - 「事件かな」と思ったら迷わず110番を
 - 犯罪について知っていることは積極的に通報を
 - 聞き込み捜査にご協力を
 - 被害に遭ったときは必ず届け出を
- ご連絡はこちらへ ☎875-0110(浦添警察署代表)
☎878-1457(刑事1課直通)

国民年金は口座振替でネ

十一月六日から始まる年金週間も、すっかり町民の皆さんに根付いたようです。でも、年金週間は単なるお祭りではありません。この機会に国民年金などの公的年金に加入することの大切さをもっと広めましょう。

皆さん方の身近にも国民年金や厚生年金、共済年金といった公的年金を

年金は生涯にわたり我々の生活を保障しています。その理由は、現役世代が



皆さん方は、国民年金などの公的年金に加入する義務があります。公的年金は生涯にわたって

その時に重要なポイントは、必ず加入すること。でも、必ず加入するということが重要であるにもかかわらず、制度を知らないために加入しない人もまだ多いことが分かっています。

二十歳になった皆さん方は、国民年金などの公的年金に加入する義務があります。公的年金は生涯にわたって

公的年金制度に加入し、高齢者などの年金の支払いに必要な費用を負担するという世代間扶養の仕組みが採られているからなのです。つまり、現役世代が納める保険料が、今の高齢世代の生活を支え、現役世代が高齢になつたときには、次の世代の納める保険料が生活を支えてくれるのです。

もつと国民年金の仕組みを知ってもらおう努力をすること、それが公的年金を安定的に運営する道なのです。

公的年金制度は、世代と世代の支え合いを基本理念として成り立っています。成人式を迎えたあなたへ！ぜひ国民年金などの公的年金に加入しましょう。

お問い合わせは
町役場国民健康保険課
国民年金係
☎ 九四五―四七九一
(内線一五三)



マブラジルから日本へ留学している日系人大学生たちが、沖縄に遊びにきて本町中央公民館へ宿泊。そのお礼に町役場を訪問。(9/26、町役場)



▷第二十七回中部地区美化コンクールの町代表となった婦人会幸地支部を訪れ審査する県中部地区婦人会のみなさん。(9/29、幸地公民館)



△丹精込めてつくった野菜や花木を販売するはばき共同作業所のみなさん。(9/26、町役場)

